

令和6年度 岡本西小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

1 基本目標

心身共に健康で、創造性と実践力に富み、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

2 具体目標（子ども像） 【合言葉】 たいやき

○健康で明るい子ども(たくましく) ○よく考える子ども(いきいき) ○心が豊かな子ども(やさしく) ○がんばりぬく子ども(きもちをこめて)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学校・家庭・地域が一体となって、共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを創造する学校」を目指す。

人権尊重と「共に学び、共に伸びる」を学校経営の基盤とし、全教職員が信頼と協調のもと「地域社会や家庭から信頼される地域とともにある学校」を目指して、児童一人一人が自分のよさや可能性を伸ばし生涯にわたって成長し続け、自信と自己有用感をもって夢や目標に向かって自己実現を図り、たくましく生きぬく力を育てることに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 心豊かにたくましく生きる力の育成を目指し、児童一人一人が自分のよさを発揮できる活力ある学校づくりに努める。
(未来を生きぬく力の育成)
- (2) 教職員がチームとして協働しながら指導力を向上させ、勤務時間を意識した働き方を推進する。
(教職員の資質・能力とチーム力の向上)(働き方改革)
- (3) 一人一人に応じた学びや、学ぶ楽しさを味わう授業の充実を図り、基礎・基本の確実な習得と学びに向かう力、思考力・判断力・表現力等の育成に努める。
(確かな学力の育成)
- (4) 地域の教育資源を活用した体験活動や交流活動を推進するとともに、宮っ子心の教育や認め励ます教育の充実を図り、豊かな心の育成に努める。
(豊かな心の育成)(特色ある学校づくりの推進)
- (5) 基本的な生活習慣を身に付けて、自ら健康や体力づくりに励む児童のたくましい心と体の育成に努める。
(基本的な生活習慣の定着)(たくましい心と体の育成)
- (6) ○家庭・地域と連携・協働しながら、地域とともにある学校づくりを推進する。(地域とともにある学校づくり)

[河内地域学校園教育ビジョン] 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域や学校、児童の実態及び児童の発達段階を考慮し、生涯にわたって成長し続けるための基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力を育成することを目指す。
- (2) 地域・保護者の意見を踏まえ、地域の教育力を生かした開かれた教育課程を編成する。
- (3) 評価と指導との一体化を図り、教科横断的な視点から教育内容を組み立て、授業改善や教育活動の質の向上に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営 学校・家庭・地域が一体となって、共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを創造する学校を目指す
・地域の教育力を生かした活動の充実を図り、共に学ぶ楽しさ共に伸びる喜びを味わうことができる学校づくりを推進する。
・教職員の同僚性を構築し、互いに高め合いながら成長し合う組織づくりを推進する。
○ いじめや不登校対策の充実を図り、状況に応じた組織的な指導や支援を推進する。
・ボトムアップによる業務改善案を具現化し、勤務時間を意識した働き方を推進する。
- (2) 学習指導 主体的に学習に取り組み、共に学び合う楽しさを味わう、心豊かな児童の育成
・自分の目標をもって学んだり、他者と協働して学んだりする態度を醸成する。
・「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善とデジタル・シテイズンシップを育む指導を推進する。
○ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と個々の児童に応じた支援を推進する。
- (3) 児童生徒指導 自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる児童の育成
・宮っ子心の教育を推進し、人権を尊重する心や思いやりの心、自己有用感を育む。
・規範意識を育むとともに、時と場に応じたあいさつと言葉遣いの定着を図る。
・認め励ます指導の充実と、全ての児童を温かい雰囲気の中で受け入れる学級づくりを推進する。

- (4) 健康(保健安全・食育)・体力 自分の体や健康及び安全に関心をもち、進んで体力の向上を目指す児童の育成
- ・運動に親しみ、生涯にわたって健康な生活を送るための資質・能力を育成する。
- 食事のマナーと望ましい食習慣の向上を図る。
- ・家庭・地域と連携した安全指導を推進し、安全を守るための判断力や実践力を育成する。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通、地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかり聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	①宇都宮モデルの授業を実践し、話し合いの場を意図的に設定し、聞く・話す能力を高め、進んで伝え合い、共に学び合う力の育成に努める。 ②児童が話し合いたくなる課題の工夫、考えを深めるための教師の発問の工夫、小グループやペアなど話し合いの形態の工夫を実践し、児童の主体的に学習に取り組む態度を育成する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>92.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・継続して共に学び合う授業を行い、協働的な学びの充実を図るなどして、主体的に学習する態度を養う。	児童	92.9	保護者	88.7	地域住民		教職員	100.0
	児童	92.9										
	保護者	88.7										
地域住民												
教職員	100.0											
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①縦割り班活動や教科等における異学年交流の機会の設定、地域の大人・高齢者との交流などにより、学年学級・学校を越えた人とのかかわりを深め、楽しく充実感を味わえる活動を適切に設定する。 ②道徳科の指導を中心に学校生活全体を通して、児童同士が互いに認め合える機会を設定する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>91.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>94.7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・縦割り班活動を継続するとともに、楽しく充実感を味わえる活動を適切に設定する。 ・道徳科の指導を中心に学校生活全体を通して、児童同士が互いに認め合える機会を設定する。	児童	91.1	保護者	92.9	地域住民	94.7	教職員	100.0
	児童	91.1										
保護者	92.9											
地域住民	94.7											
教職員	100.0											
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①運動会や持久走記録会・校外学習等の教育活動において、個々の目標設定と振り返りをしっかり行うよう指導し、諦めずに粘り強く取り組む心を育てる。 ②年度初めに、学習や生活のめあてを個人、学級で設定する際、キャリアパスポートを有効に使い、目標達成に向け諦めずに取り組めるよう、励ましながら支援する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>89.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>82.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.6</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・学校行事等において、個々の目標設定と振り返りをしっかり行うよう指導し、諦めずに粘り強く取り組む心を育てる。 ・年度初めに学習や生活のめあてを設定させ、目標達成に向け諦めずに取り組めるよう、励ましながら支援する。	児童	89.6	保護者	82.7	地域住民		教職員	96.6
児童	89.6											
保護者	82.7											
地域住民												
教職員	96.6											

1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケート「健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童肯定的回答 90%以上	①〇食育だより、保健だより等で健康の保持増進や栄養のバランスのとれた食事の大切さについて啓発し、家庭との連携を図る。 ②学校生活のそれぞれの場面に応じた感染症対策の実施をする。 ③避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通した安全教育を推進する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>94.3</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・食育だよりや保健だよりの発行で保護者に啓発する。 ・避難訓練や交通安全教室等を実施して、体験活動を通した安全教育を推進する。	児童	94.3	保護者	90.1	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	94.3										
保護者	90.1										
地域住民	100.0										
教職員	100.0										
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】全体アンケート「自分の良さや考え方を生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①学年の発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。 ②自分の夢や目標を明確にし、希望をもって生活できる環境づくりに努める。 ③縦割り班での清掃や遊び、クラブ活動など、異学年交流活動を通して、助け合う心や思いやりの心を育てる。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>89.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・学年の発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。 ・縦割り班での清掃や遊び、クラブ活動など、異学年交流活動を充実させるようにする。	児童	89.6	保護者		地域住民		教職員	100.0
児童	89.6										
保護者											
地域住民											
教職員	100.0										
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート「外国語活動（英語）の授業やA L Tとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①教員が英語を積極的に使うとともにA L Tを活用し、言語活動を工夫して英語のやり取りを中心とした授業を展開する。 ②A L Tとの交流や、A L Tによる英語絵本の読み聞かせの時間などを計画的に設定し、学校生活の中で英語に触れる機会を増やす。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>83.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・継続してA L Tを活用した児童同士のコミュニケーション主体の授業を展開する。 ・英語を耳にする経験を増やし、コミュニケーション能力の向上につなげる。	児童	83.9	保護者		地域住民		教職員	100.0
児童	83.9										
保護者											
地域住民											
教職員	100.0										
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート「宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①宇都宮学、各教科、道徳科、総合的な学習の時間の授業や体験活動等と関連を図りながら、児童が宇都宮や岡本地区のよさを実感できるようにする。 ②地域の情報を収集したことや、児童が体験した地域についての学習活動の様子等を発信することにより、地域の良さを振り返れるようにする。学校だより等でその様子を掲載することにより、地域の良さを実感できるよう児童の様子を保護者や地域に積極的に発信する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>89.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>72.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.6</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・宇都宮学、各教科、道徳科、総合的な学習の時間の授業や体験活動等と関連を図りながら、児童が宇都宮のよさを実感できるようにする。	児童	89.6	保護者	72.3	地域住民		教職員	96.6
児童	89.6										
保護者	72.3										
地域住民											
教職員	96.6										

2ー(2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】全体アンケート 「パソコンや図書等を学習に 活用している」 ⇒児童肯定的回答 85%以上	① 職員研修を充実させ、学級担任と 情報教育担当や I C T 支援員、司 書が連携し、タブレット、蔵書、 希望図書等の活用を図る。 ②学年に応じて、各教科、総合的な学 習の時間等において図書等や I C T 機器を活用し、情報発信する。 ③読み聞かせの実施や図書だより等 各種たよりによる啓発、タブレット を用いた図書の紹介などにより、読 書活動を推進するとともに、学級文 庫の更新や辞書の活用等により学 級における調べ学習や読書活動の 充実を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>91.3</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 継続して図書や I C T 機器を学習に活 用し、活動内容や児童の様子を図書だ よりや各種たより等で保護者への周知を 図るため積極的に発信する。	児童	91.3	保護者	85.8	地域住民		教職員	100.0
児童	91.3										
保護者	85.8										
地域住民											
教職員	100.0										
2ー(3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】全体アンケート 「『持続可能な社会』につい て、関心をもっている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①避難訓練や交通安全教室等を計画的 に実施し、家庭や地域と連携しな がら、防災・安全教育を推進する。 ②清掃活動などを通して、学校内外の 環境問題や環境維持を意識させる 教育活動に取り組む。 ③各教科及び道徳の授業等と関連付 けながら SDGs についての意識を高 める。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>89.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>93.1</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・今年度同様継続的に実施し、環境問題 や防災等の話題に対して関心を高め るとともに、各教科及び道徳の授業等と 関連付けながら SDGs についての意識を高 める。また、牛乳パックリサイクルを継 続していきたい。	児童	89.4	保護者		地域住民		教職員	93.1
児童	89.4										
保護者											
地域住民											
教職員	93.1										
3ー(1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A 10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】全体アンケート 「特別な支援を必要とする児 童（生徒）の実態に応じて、 適切な支援をしている」 ⇒教職員肯定的回答 85%以 上	①校内支援委員会等により、学級やか がやきルームでの指導方針・具体策 を組織的に検討し、個別の支援計画 に応じた指導に取り組む。 ②児童一人一人の実態把握を行い、支 援の必要な児童に対しては、合理的 配慮などを行うよう努める。 ③かがやきルームでの児童の様子や 今後の支援のあり方を相談・検討す る。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・児童一人一人の実態把握を行い、支 援の必要な児童に対しては、合理的配慮 などを行うよう努めていく。 ・必要に応じてケース会議や不登校 対策委員会を開き、学校全体として取り 組んでいく。	児童		保護者		地域住民		教職員	100.0
児童											
保護者											
地域住民											
教職員	100.0										
3ー(2) いじめ・不 登校対策の 充実	A 11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを を指導している。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、いじめが許され ないことを熱心に指導してく れる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以 上	①児童への定期的なアンケート調査 の実施や教育相談等において、実態 把握に努めるとともに、いじめを発 見した場合には、十分な指導支援を 行う。 ②いじめゼロ集会、学校だより、学年 だより、学校ホームページを活用す るとともに、保護者会や個人懇談で 直接説明も行い、保護者へいじめ対 策を積極的に公表していく。 ③「岡本西小学校いじめ防止基本方 針」に基づき、様々なツールを活用 し、保護者や児童への啓発を図る。 いじめは絶対許されないことだ ということを児童に対して常に指導 する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>98.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>79.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・今年度同様様々なツールを活用し、保 護者や児童への啓発を図る。いじめは 絶対許されないことだということを 児童に対して常に指導していく。	児童	98.0	保護者	79.9	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	98.0										
保護者	79.9										
地域住民	100.0										
教職員	100.0										

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、一人一人を大切に、児童（生徒）がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①学習や生活指導をととして、自己肯定感を高める取組を継続して行うとともに、児童の良さを積極的に評価するなどして、不登校を未然に防止する教育環境を整え、お互いのよさを認め合う活動を取り入れ、児童がクラスへの帰属意識を高められるようにする。 ②年2回の「なんでも相談」で、全児童と相談を実施し、悩みの把握と早期解決を図り、安心感の醸成につなげる。 ③「友達のよさをみつける活動」を通して、友達同士で、よさや努力などを認め励ます環境づくりに取り組む。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>95.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>89.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・「なんでも相談」や友達の良さを見つける活動を引き続き行い、児童が安心感をもって学校生活を送れるよう努めていく。 ・学習や生活指導をととして、お互いのよさを認め合う活動を取り入れ、児童がクラスへの帰属意識を高められるようにする。	児童	95.5	保護者	89.3	地域住民		教職員	100.0
児童	95.5											
保護者	89.3											
地域住民												
教職員	100.0											
3ー(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、困ったときに相談の乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	①かがやけ岡西つ子やさわやか岡西賞の表彰など認め励ます指導を充実させる。 ②学校行事や特別活動等の充実を図り、児童が主体的に意欲をもって活動し、自己決定できる場を多く設定する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>97.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・各クラス、学年、学校全体として、児童の良さを認め、励ますことのできる機会を多く設定するようにする。	児童	97.0	保護者	88.8	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	97.0											
保護者	88.8											
地域住民	100.0											
教職員	100.0											
3ー(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化												
4ー(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童肯定的回答 85%以上	①岡本西小授業スタンダードを活用し、全校体制で宇都宮モデルの授業を実践する。 ②単元や学習内容に合わせて指導形態を工夫し、T Tや少人数指導・習熟度別学習を通し、個に応じた指導に努める。 ③学力調査の結果を授業改善につなげたり、過去の調査問題や復習教材を授業等で活用したりする。 ④家庭学習のヒント集やA Iドリルを活用し、個に応じた家庭学習を推進する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>97.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・岡本西小授業スタンダードを継続して活用し、分かる授業や指導の充実を図る。 ・授業の指導形態や教材を工夫することで、個に応じた丁寧な指導に努める。	児童	97.2	保護者	88.6	地域住民		教職員	100.0
児童	97.2											
保護者	88.6											
地域住民												
教職員	100.0											
4ー(2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上	①学校行事や特別活動で、学年やブロックごとに役割を分担し、同僚性を発揮し協力して業務に取り組む。 ②職員会議での説明や行事後の反省にミライムを活用し、情報機器を活用して、共通理解を図ることができる勤務環境を整える。 ③互いに連携を図りながら、教職員全員で校務に取り組む体制作りに努める。その際ミライム等や、1人1台端末などのICT機器を効果的に活用する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・互いに連携を図りながら、教職員全員で校務に取り組む体制作りに努める。その際ミライム等や、1人1台端末などのICT機器を効果的に活用する。	児童		保護者		地域住民		教職員	100.0
児童												
保護者												
地域住民												
教職員	100.0											

4ー(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上	①学校目標及び今年度の重点について共通理解を図り、チームとして協働していくことで、同僚性を高める。 ②学校行事や教育活動、研修内容を見直し、本来の業務をしっかりと行いながら、業務の適正化を図る。 ③学校情報システム等の各種システム等を活用して、業務の効率化を図る。 ④働き方改革の意識や職場環境を改善しながら、さらに業務の効率化を図る。(リフレッシュデーの曜日設定の工夫など)	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>86.2</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・働き方改革の意欲や職場環境を改善しながら、更に業務の効率化を図る。	児童		保護者		地域住民		教職員	86.2
児童											
保護者											
地域住民											
教職員	86.2										
5ー(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」 ⇒保護者肯定的回答 90%以上	①河内地域学校園内で連絡を取り合いながら、連携した取組ができるよう計画していく。 ②「学校だより」や保護者会、地域の会合等による情報発信の工夫に努め、保護者や地域への周知を図る。 ③毎月一日を「かわちあいさつの日」として、地域で協力し統一した取り組みを行う。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>92.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.4</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>94.4</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・学校だより等による情報発信が効果を上げていると考えられる。引き続き、小中一貫教育・地域学校園の取組について、保護者会や地域の会合を含めた情報発信の工夫に努める。	児童	92.4	保護者	80.4	地域住民	94.4	教職員	100.0
児童	92.4										
保護者	80.4										
地域住民	94.4										
教職員	100.0										
ー(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5ー(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒地域と児童の肯定的回答 90%以上	①地域の教材や人材、外部講師等の出前授業を活用した学習や体験活動を充実させ、授業に生かす。また、地域や保護者ボランティアの方に授業に協力していただき教育活動の充実を図る。 ②保護者・地域ボランティア・警察と連携し、登下校の安全確保に努める。 ③授業参観や薬物乱用教室、出前授業を活用した学習を公開する。また、その学習の様子を保護者や地域に発信する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>92.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・感染症対策を図りながら、外部の人材を活用し、学校だより等で地域や保護者へ実践内容や成果を発信していく。	児童	92.5	保護者	85.8	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	92.5										
保護者	85.8										
地域住民	100.0										
教職員	100.0										
6ー(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	①保護者へ災害時避難方法や児童送迎時の自家用車乗り入れ方法の周知、AED等、危機対応に関する情報を提供する。 ②全教職員による毎月のグループ安全点検やAED講習会を実施するなど、児童や保護者、地域住民が安心・安全に活動できる環境づくりに取り組む。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.2</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>94.7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・引き続き、危機管理対応に関する情報を地域や保護者に伝えたり、校内の安全な環境づくりに努めたりしていく。	児童		保護者	86.2	地域住民	94.7	教職員	100.0
児童											
保護者	86.2										
地域住民	94.7										
教職員	100.0										
6ー(2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】全体アンケート「授業（授業準備も含む）や業務に、デジタル※を積極的に活用している。」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上	①GIGAスクール構想による1人1台端末を積極的に使用し、ICT機器を学習に活用する機会を増やしていく。 ②効率よく業務を遂行できるようにデジタル機器を活用する。 ③教職員間で1人1台端末の使い方や活用例を共有する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・引き続き、教職員間で1人1台端末の使い方や活用例を共有し、より活用しやすい環境を整えていく。	児童		保護者		地域住民		教職員	100.0
児童											
保護者											
地域住民											
教職員	100.0										

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒保護者肯定的回答 85%以上	①河内地域学校園あいさつ運動を実施し、意識の高揚を図る。 ②児童と教師のあいさつ当番を活用することで、学校内外であいさつができる子どもの育成に努める。日常場面の中でも、時と場に応じたあいさつができるように、学校全体で指導していく。 ③「かわちあいさつの日」の啓発を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>90.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>79.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>89.7</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・今年度同様、河内地域学校園あいさつ運動を実施し、意識の高揚を図る。 ・日常場面の中でも、時と場に応じたあいさつができるように、学校全体で指導していく。	児童	90.2	保護者	79.3	地域住民	100.0	教職員	89.7
	児童	90.2										
保護者	79.3											
地域住民	100.0											
教職員	89.7											
B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】全体アンケート「きまりやマナーを守って生活をしている。」 ⇒児童肯定的回答 85%以上	①学校でのきまりを徹底するため全職員が共通理解の下、指導に当たる。特に「はっきりとあいさつや返事をする」「廊下は右側を静かに歩く」を重点課題に根気強く取り組む。 ②「岡西小よい子の一日」などを活用して、規範意識の醸成に努めると共に、よくできている児童を認め自己肯定感を高める機会を設ける。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.0</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>89.5</td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.6</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・校庭の使い方や廊下の歩行の仕方などについて、全職員が共通理解の下、指導を徹底する。 ・「岡西小よい子の一日」を継続的に周知徹底する。	児童	93.1	保護者	95.0	地域住民	89.5	教職員	96.6	
児童	93.1											
保護者	95.0											
地域住民	89.5											
教職員	96.6											
	B 3 児童は、学習の生活習慣が身についている。 【数値指数】全体アンケート「決められた宿題に取り組んだり、工夫して自主学習に取り組んだりしている。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	①家庭学習定着月間やのびゆく岡西の子チェックシートや自主学習カードを活用して宿題や音読、自主学習に継続的に取り組めるようにする。 ②学年ごとに、発達段階に応じた自主学習の内容と方法を具体的に示し指導する。 ③家庭学習の定着の意義や学校での指導内容を、学級懇談会や学年だより等で保護者に知らせ、より一層の理解や協力を得られるように努める。	B	【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>86.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・家庭学習定着月間や日々の自主学習カードの記入を通して、学習の生活習慣の定着を図るとともに、家庭学習について学級懇談会や学年だより等で発信することで、保護者の理解や協力を得られるようにする。	児童	86.4	保護者	86.7	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	86.4											
保護者	86.7											
地域住民	100.0											
教職員	100.0											

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・「児童は、思いやりの心をもっている。(A 2)」の肯定的回答割合は、全対象者において80%を上回ったことから一定の評価を得られたものと考える。
- ・「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。(A 4)」の肯定的回答割合は、全対象者において90%を上回ったことから一定の評価をえられたものと考える。
- ・「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。(A 13)」の肯定的回答割合は、全対象者において80%を上回ったことから一定の評価をえられたものと考える。
- ・「学校は、利用する人の安全配慮した環境づくりに努めている。(A 19)」の肯定的回答割合は、全対象者において80%を上回ったことから一定の評価をえられたものと考える。
- ・「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。(B 2)」の肯定的回答割合は、全対象者において85%を上回ったことから一定の評価をえられたものと考える。
- ・「児童は、学習生活習慣が身についている。(B 3)」の肯定的回答割合は、全対象者において80%を上回ったことから一定の評価をえられたものと考える。
- ・「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。(A 11)」の肯定的回答割合は、児童は98.0%だが、保護者が79.9%という結果になったことを重く受け止めている。次年度においても、児童や保護者の声に親身に耳を傾け、いじめの未然防止と早期発見により一層努めるとともに、組織的対応の充実を図る。
- ・「学校は、小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。(A 17)」の肯定的回答割合は、保護者が90%を下回る結

果となった。次年度は、保護会へより一層の情報発信の工夫に努める。

- ・「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。(B1)」の肯定的回答割合は、保護者において数値指標を下回る結果となった。次年度は、日常場面の中でも、時と場に応じたあいさつができるように、学校全体で指導していく。

7 学校関係者評価

- ・あいさつ運動の日時を地域に伝えとよいと思う。地域と連携して取り組むことが必要だと思う。地域内の今後も継続して地域と学校との関係性を構築していきたい。
- ・児童はきまりやマナーは守れていると思うので、これからも地域が見守りながら、児童とよりよい関係を築けるよう、学校の支援を行っていきたい。
- ・今後も継続して、地域と学校との関係性を構築していきたい。よりよい関係が続くよう、学校支援ボランティアの世代交代や人材育成が必要と感じる。
- ・数値の低いところなどは、保護者への理解、周知不足など、改善の余地がある。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) ○保護者や地域住民に対して、いじめ防止や健康・安全についての学校の取り組みを更に知ってもらうために、より一層情報発信に努める。
- (2) 「岡本西小よい子の一日」(休み時間や授業など場面ごとの望ましい行動の例)を年度初めに周知し、基本的生活習慣の育成を図る。
- (3) ○かわちあいさつの日には、地域学校園であいさつ運動を設定し、さらにあいさつの励行に努めるよう指導する。
- (4) 各教科や総合的な学習の時間等の様々な場面において、1人1台のパソコンやICT機器を積極的に活用していく。
- (5) 宇都宮学、各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を図りながら、宇都宮市や河内地区の特色や文化について学び、宇都宮のよさを学べるようにする。
- (6) 読書推進のための取組を継続し、地域学校園で連携して、読書活動の充実を図る。
- (7) 学習や生活指導をととして、お互いのよさを認め合う活動を取り入れ、児童がクラスへの帰属意識を高められるようにする。
- (8) 道徳の授業や児童会活動、学校行事等を通して思いやりの心を養うための指導を行う。
- (9) ○児童の実態にあったサーキットトレーニングや運動講習会を実施して、運動習慣を身に付けることができるようにする。
- (10) 幼稚園、保育園、河内中学校、岡本特別支援学校との交流については、感染症対策を講じながら、活動内容を工夫した計画を設定する。